

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県宗像市離島航路確保維持協議会	宗像市	地島～神湊	・離島航路担当部署と離島振興担当部署を統合した強みを活かして常日頃から密に情報共有・連携を行い、ターミナルでのイベント掲示やイベント時の円滑な来客対応など来島促進に向け取り組みを強化した。 ・国から示された旅客船の安全確保に向けたさまざまな施策について、適宜情報を把握し、適切に対応した。	A	B	・アフターコロナの来島促進に向けて、離島振興担当部署と連携し来島促進に向けた情報発信等の取り組み強化に努める。 ・「旅客船の総合的な安全・安心対策」に基づく国からの指示等に則り、船員・事務員一丸となって安全運航の継続実現に向けて適切な対応を行う。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 来島促進に向けて、離島振興担当部署と連携し、釣り・ウォーキングなど地島の魅力について情報発信等を行い、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
福岡県宗像市離島航路確保維持協議会	宗像市	大島～神湊～地島	・離島航路担当部署と離島振興担当部署を統合した強みを活かして常日頃から密に情報共有・連携を行い、ターミナルでのイベント掲示やイベント時の円滑な来客対応など来島促進に向け取り組みを強化した。 ・国から示された旅客船の安全確保に向けたさまざまな施策について、適宜情報を把握し、適切に対応した。	A	B	・アフターコロナの来島促進に向けて、離島振興担当部署と連携し来島促進に向けた情報発信等の取り組み強化に努める。 ・「旅客船の総合的な安全・安心対策」に基づく国からの指示等に則り、船員・事務員一丸となって安全運航の継続実現に向けて適切な対応を行う。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 来島促進に向けて、離島振興担当部署と連携し世界遺産や釣り・オルレなど大島の魅力について情報発信等の取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県新宮町離 島確保維持協議 会	新宮町	相島～新宮	船舶安全設備の義務化に伴い、新たに改良型救命浮器及び簡易AISを搭載し、旅客船の安全運航に向けた新しい基準及び取組に対応した。 乗船客の利便性向上と利用者数増に向けた取り組みに関しては、待合所における多言語表示や積み残しに対する臨時便の運航など、サービスの向上に努めた。	A	A	引き続き旅客船の安全運航に向けた新しい基準及び取組に対応しつつ、乗船客の利便性向上と利用者数増を目指していくとともに、より効率的な航路運営を図っていく。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 引き続き利用者の利便性向上、観光客誘致による利用者数増加を目標に、離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
福岡県福岡市離 島航路確保維持協 議会	福岡市	玄界島～博多	利用者が安心・快適に乗船できるよう船舶および施設の整備に努め、利便性については、新札への対応を迅速に行うと同時に、キャッシュレス決済の拡充も行った。 また、情報発信に関しては、SNS等を活用するほか、市庁舎等でパネル展を実施するなど島民以外の利用者拡大に努めた。	A	B	利用者が安心・快適に乗船できるよう、設備の修繕等のハード面への対応と同時に、安全運航の徹底等、ソフト面もさらに強化していきたい。 また、更なる利便性向上に努めるとともに、SNS等を活用した情報発信を行い、島民以外の利用者拡大にも努めていく。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 来島促進に向けて、更なる利便性向上に努めるとともに、SNS等を活用した情報発信による利用者数増加を目標に、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
福岡県福岡市離 島航路確保維持協 議会	福岡市	小呂島～姪浜	利用者が安心・快適に乗船できるよう船舶および施設の整備に努め、利便性については、新札への対応を迅速に行うと同時に、キャッシュレス決済の拡充も行った。 また、情報発信に関しては、SNS等を活用するほか、市庁舎等でパネル展を実施するなど島民以外の利用者拡大に努めた。 なお、新船建造については現在も協議を進めている。	A	B	利用者が安心・快適に乗船できるよう、設備の修繕等のハード面への対応と同時に、安全運航の徹底等、ソフト面もさらに強化していきたい。 また、更なる利便性向上に努めるとともに、SNS等を活用した情報発信を行い、島民以外の利用者拡大にも努めていく。 欠航率の改善については、時化に強い省エネ船舶の建造を目指していく。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 来島促進に向けて、更なる利便性向上に努めるとともに、SNSやイベント等を活用した情報発信による利用者数増加を目標に、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県糸島市離 島航路確保維持 協議会	糸島市	姫島～岐志	引き続き、糸島市航路改善計画に基づき、利用者の増進及び利便性向上に努めている。 また、継続して、市観光部門が作成した「ひめしマップ」を船内や岐志観光休憩所に配架、また市観光協会に配布し、島の魅力をアピールすることで、観光客等の利用増進に努めた。 新型コロナウイルス感染症の影響等から利用者が回復傾向にあったこともあり、利用者の増進を図ることができた。	A	B	島民や島外からの来島者が安心して渡船を利用できるよう、安全運航を徹底し運航する。 また、観光パンフレット「ひめしマップ」の配布や市ホームページ、SNS等による情報発信を行い、福岡都市圏から1時間ほどで自然が満喫できる島の魅力をアピールし、観光客や団体利用客の再利用・新規利用等島外利用者の拡大に努めていく。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 来島促進に向けて、観光パンフレット、ホームページ、SNS等による情報発信を行うことで島外利用者の拡大を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
福岡県北九州市 離島航路確保維 持協議会	北九州市	藍島～小倉	①ダイヤ改正 船舶を長期間使用するにあたり、機関への負荷を軽減するため、エンジン出力の抑制の取り組みを進めた。その影響による所要時間の増加については、島民の理解を得てダイヤ改正を行った。 ②経費縮減 船員が対応可能な小修繕を行い経費削減を図るとともに、停泊時のアイドリングストップや入札により高騰する燃料費の抑制に務めた。 ③離島活性化 定期的な活動を行う海岸清掃団体など、島の応援者たちの参加により、島外との繋がりが図られた。 ④増客対策 ペアチケットやファミリーチケットの活用や、夏季増便を運航し、島外からの集客を図った。 また、利用者の環境整備のため、馬島簡易休憩所の改修を行った。	A	B	①経費縮減 計画的な船舶修繕計画の検討を含め、引き続き、経費の縮減に努めていきたい。 ②離島活性化 島で定期的な活動を行う海岸清掃活動団体など島の応援者たちの参加により、島外との繋がりを継続していく。 ③増客対策 マイクロツーリズムの流れも活かし、臨時便や割引チケットの活用により、5月の連休や夏季休暇時での集客対応に力を入れたい。 また、デジタル化に合わせて待合所等へのWi-Fiの導入など利便性の向上など集客対策を継続して行っていきたい。 ④船員の雇用対策 退職に伴う船員減に対して新規雇用による船員数の確保を行い、安定した運航を図る。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 経費削減、離島活性化、増客対応、船員の雇用対策などを行い、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津市離島航路 確保維持協議会	有限会社 郵正丸	馬渡島～名護屋・ 呼子(本土)間を運 航	1)離島住民の島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等、日々の生活を支えるという観点から、確実な計画運航回数の実施を目標とした。 2)航路経営の費用は必要最小限として可能な限り削減に努めることとし、安価な契約の締結による燃料費の削減、日常の整備点検励行による修繕費の削減等により、経費削減に努める。 3)航路改善計画に基づき、小型の新船を建造し、10月から運航を開始した。	A	B	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・引き続き安定的な航路運営に努め、令和4年度に策定した航路改善計画の遂行の他、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 航路改善計画に沿って実施した使用船リプレイスによるランニングコスト減をはじめとしたコスト削減を図る等により、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
唐津市離島航路 確保維持協議会	有限会社 加唐島 汽船	加唐島～呼子(本 土)間を運航	1)離島住民の島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等、日々の生活を支えるという観点から、確実な計画運航回数の実施を目標とした。 2)航路経営の費用は必要最小限として可能な限り削減に努めることとし、安価な契約の締結による燃料費の削減、日常の整備点検励行による修繕費の削減等により、経費削減に努める。	A	A	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・引き続き安定的な航路運営に努め、令和5年度に策定した航路改善計画の遂行の他、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 令和5年度に策定した航路改善計画の遂行等によりコスト削減を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津市離島航路 確保維持協議会	川口汽船 有限会 社	小川島～呼子(本 土)間を運航	1)離島住民の島外への通勤、通 学、通院、生活物資の購入等、 日々の生活を支えるという観点か ら、確実な計画運航回数の実施を 目標とした。 2)航路経営の費用を必要最小限 として可能な限り削減に努めること とし、共通予備船の利用や安価な 契約の締結による燃料費の削減、 日常の整備点検励行等による修繕 費の削減により、経費削減にと努 める。共通予備船の代船として貸し 出すことにより収益の増加を図る。 3)離島航路改善計画の策定に着	A	B	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・共通予備船の利用回数を増やすことで燃料消費量の削減を図るとともに、安定的な航路運営に努める。 ・令和6年度中に航路を安定的に維持・確保するための航路改善計画を取りまとめる。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 令和6年度中に策定される航路改善計画に沿った取組を行い、また来島促進に向けて、島内で行われるイベントとのタイアップや釣り愛好家への情報提供などで利用者の増加を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
唐津市離島航路 確保維持協議会	唐津汽船 株式会 社	神集島～湊(本土) 間を運航	1)離島住民の島外への通勤、通 学、通院、生活物資の購入等、 日々の生活を支えるという観点か ら、確実な計画運航回数の実施を 目標とした。 2)航路経営の費用は必要最小限 として可能な限り削減に努めること とし、安価な契約の締結による燃 料費の削減、日常の整備点検励行 による修繕費の削減等により、経 費削減に努める。	A	B	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・引き続き安定的な航路運営に努め、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 来島促進に向けて、島内でのイベント開催、島の魅力発信など利用客の利便性を向上させることで島外利用者の拡大を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	九州郵船株式会 社	博多～比田勝	・新造船うみてらしの就航後は、就航率が大幅に改善し、運航への信頼感が格段に飛躍した。 ・船舶の性能が高まった事に伴う船内の快適性や、欠航及び延着がほとんどなくなった事による安心感が利用客に定着しつつあり、本航路の利便性が高まった事を追い風にして、集客の段階から本航路利用促進を促すような販促、営業活動に取り組んだ。	A	A	・対馬島内は高齢化・過疎化が進み年々、島内人口は減少の一途をたどっている。 ・新船を導入後、年々利用者が増加していることから、本航路の快適性や信頼性は浸透しつつある。これらをさらに訴求し、特に博多壱岐対馬航路の往復利用客を1人でも1台でも多く本航路利用促進に繋がるべく、旅行代理店やトラック業者への地道な販促活動を実践し、対馬島内とも連携しながら今後も営業活動を実践していく。	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 新船を導入後、年々利用者が増加していることから、本航路の快適性や信頼性をさらに訴求し、営業活動を実践することで利用者の拡大を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	崎戸商船株式会社	友住～佐世保	・離島航路改善計画の実施により、 費用の削減に努めた。	A	A	・新型インフルエンザやコロナ感染防止 対策を確実に継続するとともに、江島沖 洋上風力発電事業の工事に対応し、事 業者・自治体と協力していく。	島内の人口減少が進む中、また燃料 費高騰や物価上昇の中、島民の民生の 安定及び向上のため、離島航路を維持 していること自体評価できます。 来島促進に向けて、各事業者・自治体 と連携して島外利用者の拡大を図り、引 き続き離島航路の確保維持に努められ ることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	九州商船株式会社	佐世保～上五島	・積極的な営業活動により交流人 口の増加に努めるとともに、令和5 年度策定の航路改善計画に沿って 使用船舶やダイヤの変更を行い、 安定的な航路維持に努めた。	A	A	・令和5年度策定の航路改善計画に基 づき、老朽化が進んでいる使用船舶の 更新や利便性の改善等に向けて取り組 む。	島内の人口減少が進む中、また燃料 費高騰や物価上昇の中、島民の民生の 安定及び向上のため、離島航路を維持 していること自体評価できます。 令和5年度策定の航路改善計画に 沿って、利便性の改善等に努め、引き 続き離島航路の確保維持に努められる ことを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	野母商船株式会社	福江～青方～博多	・減速運航は、博多～宇久下り便 において継続して行い燃料費削減 に努め、その他の経費においては、 船舶の維持点検を行い修繕費 の抑制に努めた。 ・新たな得意先の獲得等積極的な 営業活動を実施継続し増収に努め た。	A	A	・減速運航は、博多～宇久下り便におい て継続して行い燃料費削減に努め、そ の他の経費においては、船舶の維持点 検を行い修繕費の抑制に努める。 ・新たな得意先の獲得等積極的な営業 活動を実施継続し増収に努める。	島内の人口減少が進む中で、島民の 民生の安定及び向上のため、離島航路 を維持していること自体評価できます。 また、地道な営業活動により、新規顧 客の確保に努められていることも評価 できます。 今後も営業活動等による増収に関す る取組や、経費削減の取組を実施する ことにより、引き続き離島航路の確保維 持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	五島旅客船株式会 社	郷ノ首～福江	・ホームページを制作し、旅客の利便性向上に努めた。 ・運航の定時性を確保しながら潮流の状況を勘案し、時間的に余裕があるときは主機関の回転数を落とすことにより燃料費の削減に努めた。 ・日常メンテナンスを計画的に実施し、船員が可能な範囲で整備修繕を行い修繕費の削減に努めた。	A	B	・ホームページを制作し、旅客の利便性向上に努めた。 ・運航の定時性を確保しながら潮流の状況を勘案し、時間的に余裕があるときは主機関の回転数を落とすことにより燃料費の削減に努めた。 ・日常メンテナンスを計画的に実施し、船員が可能な範囲で整備修繕を行い修繕費の削減に努めた。	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。今後も旅客の利便性向上、経費削減、交流人口増加を図ることで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	佐世保市(宇久)	神浦～寺島～柳	・機関調整等による欠航をすることがないよう、適切な点検整備を行い、運航率の安定を図った。	A	A	・引き続き適切な点検整備等を行い、機関調整による欠航を減らし、急激な就航率の低下とならないよう努める。 ・より一層の経費節減に努め、運航の効率化を図る。 ・風力発電や太陽光発電施設建設等に係る事業の進捗により、事業者の利用が増えているので、一時的ではあるものの利用者数の改善が望める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。今後も、機関点検による欠航回数の減少に向けた取組を実施され、風力・太陽光発電関連事業の輸送需要増加を捉えることにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	津吉商船株式会社	津吉～相浦～佐世保	・平戸南部地区の過疎化に伴う人口の自然減による輸送人員の減少を補うため、平戸商工会議所主導による南部地区町おこしの一環として「南部地区活性化委員会」にも参加し、観光客誘致に努めた。 ・各種イベント等に関しても、可能な限りのPRを行い、平戸島外からの入込み客を増やすことにより運賃増収に努めた。	B	B	・事業者単独での航路維持は非常に困難であり、公的支援が必要である。 ・佐世保コンベンション協会に働きかけ佐世保地区へのPR化を図り、広域観光ルートの構築に取り組む。 ・平戸商工会議所主導による「南部地区活性化委員会」にも参加し観光誘致に努め、各種イベントに関しても、出来る限りPRを行い、運賃の増収に努める。 ・船舶修繕費については、船員で整備修繕を行い、経費削減に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。広域観光ルートの構築、各種イベントのPR等により交流人口を増やす取組を実施することにより、引き続き航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	西海沿岸商船株式 会社	佐世保～神浦	・長崎市及び島民との協議を行い、 観光客の受け入れ体制やダイヤに ついて協議を行っている。	A	A	・新型インフルエンザ感染防止対策を確 実に継続する。 ・西海市及び長崎市(池島)と連携し航 路利用客の増加に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料 費高騰や物価上昇の中、島民の民生の 安定及び向上のため、離島航路を維持 していること自体評価できます。 関係機関との連携により利用者数増 加を図るとともに、航路改善計画に沿っ た取組を継続され、国庫補助対象区間 の拡大などで大きな転換を迎える中、引 き続き離島航路の確保維持に努められ ることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	平戸市	大島～平戸	・新型インフルエンザ感染防止対 策を確実に継続する。 ・西海市及び長崎市(池島)と連携 し航路利用客の増加に努める。 ・新型インフルエンザ感染防止対策 を確実に継続する。 ・西海市及び長崎市(池島)と連携 し航路利用客の増加に努める。	A	A	・原油価格が高騰しており、今後も主機 回転数の抑制や、引き続き毎月の見積 入札制度を継続し、経費削減に努める。 ・また、日頃からの点検により小修理等 可能な限り船員で行い経費節減に努め る。	島内の人口減少が進む中、また燃料 費高騰や物価上昇の中、島民の民生の 安定及び向上のため、離島航路を維持 していること自体評価できます。 経費削減、利用客増加に努め、引き 続き離島航路の確保維持に努められる ことを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	対馬市	仁位～長板浦	・有人国境離島割引及び同障害者 割引により、地域住民の利用促進 を図った。 ・経費については、小修繕、船舶保 守点検など可能な限り船員で行っ た。 ・主燃料(A重油)の入札を年4回実 施するなど経費削減に努めた。	B	B	・本航路は主に病院受診のための高齢 者、障がい者が利用している。 ・人口減少により、本航路利用者は減少 の一途をたどっているが、近年は本市を 訪れた個人旅行者が観光目的で本航路 を利用していることから、地域住民のみ ならず個人旅行者の利用促進を図り利 用者数・収入の増に繋げていく。 ・また、船舶修繕については、船員で対 応可能な範囲の整備や修繕、点検は船 員で実施し経費削減に努めていく。	島内の人口減少が進む中、また燃料 費高騰や物価上昇の中、島民の民生の 安定及び向上のため、離島航路を維持 していること自体評価できます。 今後も、個人観光客の取り込み、経費 削減等を図り、引き続き離島航路の確 保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	野母商船株式会社	長崎～伊王島～高島	・令和5年10月1日より旅客運賃の値上げを実施。(離島住民運賃割引も実施) ・乗船券と高島のレジャー施設の入場券をセットにしたパック商品等の販売を継続し、利用客増に努めた。 ・船舶版の御朱印である「御船印」の販売を実施して乗船客の増加に努めた。	A	B	・事業者単独での航路維持は非常に困難であり、公的支援が必要である。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後もパック商品、「御船印」の販売等を通じて収支改善を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	鷹島汽船有限会社	阿翁～御厨	・離島住民運賃割引を継続した。 ・交流人口拡大及び観光客の誘致のために「まつうら交流公社」と協力して、青島への体験型修学旅行生の受け入れに努めた。 ・燃料潤滑油費では、主機関の回転数の調整による経済運転による経費節減に努めた。 ・船舶修繕費では、船員による日頃からの保守点検による経費節減に努めた。	A	A	・平成27年度に松浦市地域公共交通活性化協議会「殿ノ浦～今福航路対策分科会」において、阿翁～御厨航路に飛島を寄港地として追加する「航路改善計画」を作成した。それに伴い寄港地である飛島に週1回(原則水曜日)本航路の「フェリーたかしま2」を運航して、屎尿運搬車・ゴミ収集車・プロパンガス運搬車・燃料運搬のタンクローリー車等の車両輸送を行っている。 ・令和4年度に策定した「松浦市地域公共交通計画」に基づき今後は長期的視点に立った持続的な経営効率化と関係者間の連携強化を図っていく。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も航路改善計画に沿った取組を継続し、関係機関と連携した交流人口拡大及び観光客の誘致を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	鷹島汽船有限会社	殿ノ浦～今福	・離島住民運賃割引の実施及び寄港地である飛島へ島外からの釣り客利用者の誘致に努めた。 ・燃料潤滑油費では、主機関の回転数の調整による経済運転による経費節減に努めた。 ・船舶修繕費では、船員による日頃からの保守点検による経費節減に努めた。	A	B	・令和4年度に策定した「松浦市地域公共交通計画」に基づき今後は長期的視点に立った持続的な経営効率化と関係者間の連携強化を図っていく。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も関係機関と連携し、交流人口拡大及び観光客の誘致を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	吉崎市	大島～郷ノ浦	・校外学習によるフェリーの利用等、収入の維持、確保を図った。 ・経費については、燃料油費の毎月単価入札の実施、中間検査における一般競争入札の実施の他、船員自らデッキ等の塗装及び機器整備を実施する等、日頃から船舶保守点検を徹底し、経費節減に努めた。	A	B	・人口減少、少子高齢化等により、運航収益の減少が危惧されるが、交流人口の拡大を図り収入の維持確保に努める。 ・今後も船員による船舶保守点検を徹底し、経費節減に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、島外からの観光客・教育旅行等による乗客及び交流人口を増やす取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	黒島旅客船有限会社	黒島～高島～相浦	・過疎化、高齢化による利用客減に対して、佐世保市と連携し観光客集客に努めた。 ・車両の配乗計画等を工夫し欠損増加の抑制に努めた。 ・船員による船舶の錆落とし、補修、日々の清掃、定期点検を実施し維持管理を行い経費節減に努めた。	A	A	・高齢化、過疎化が進むなか、引き続き佐世保市と連携し観光客集客に努める。 ・多客期の運航期間や便数調整、車両の配乗計画等を工夫し欠損増加の抑制に努める。 ・今後も引き続き、船員による船舶の錆落とし、補修、日々の清掃、定期点検を実施し維持管理を行い経費節減に努める。また、経費の精査を行い節減に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も佐世保市と連携しながら観光客等の交流人口を増やす取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	五島市(奈留)	奈留島～前島	・デマンド運行の定着及び利便性の向上を図り、離島航路の維持存続に努めた。 ・なお赤字縮小のために令和4年4月より運賃値上げを実施した。	A	A	・安全かつ安定的な運航を徹底するなど利便性の向上に努める。 ・現在の運航形態(民間委託及びデマンド運航)を継続し、離島航路の確保維持に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、引き続き航路改善方策に取り組まれることにより、離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	有限会社木口汽船	久賀～福江～杵島	・悪天候と上架期間増で欠航回数が計画より増えた。 ・修繕費についてはシーガルはリプレイスで、他船は修理を期間で分けたことで削減できたが、物価高騰による部品の値上げは継続しており修繕費も高額となった。 ・観光客数は少しずつ増えており、昨年度と比較し8%の増加、コロナ前の87%まで回復している。	B	B	・現状の運航体制を可能な限り維持しながら、経費を削減し、経営を行っていく。 ・物価上昇により部品等が値上げされ修繕費が年々高額になっているが、メンテナンスを計画的に実施し、部品交換のタイミングを綿密に図ることで費用の削減が予想される。燃料費や他の経営コストについてもできる限り削減できるよう検討を重ねていく。 ・船員雇用が難しい中、無資格ではあるが雇用ができたので、技術的な指導を含め、船員育成ができる環境づくりに力を注ぎ、島民が安心して利用できる運航を維持したい。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 また、特に離島航路の船員雇用は難しい中で新規船員を獲得出来たことは評価に値します。 今後も交流人口を増やす取組を実施され、費用削減を図りつつ引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	有限会社黄島海運	黄島～福江	・日頃から経費の削減に努め安定的な航路運営を図った。 ・燃料費の安価購入のため、単価購入契約を実施した。	A	B	・離島住民及び利用者の要望を常に聞きながら、利用者の目線で事業運営に努めていきたい。 ・令和4年4月「おうしまⅡ」の就航により、修繕費、燃料費の経費削減に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 新船効果などを活用しつつ利便性の向上を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	竹山運輸有限会社	度島～平戸	・コロナウイルス感染症の5類移行後の釣り客の確保に努め車両・旅客ともに増加した。	A	B	・今後は近隣の造船所の利用で経費削減に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も釣り客等の交流人口拡大、経費削減に努め、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	小値賀町	笛吹～大島・野崎	・町の観光窓口である「おぢかアイ ランドツーリズム協会」と連絡を密 にし観光客の利用など、町営船の 利用促進への対策を行った。 ・また、関係機関と陸上交通との接 続や運航ルートの変更などについ て協議を実施した。	A	B	・効率的な運航、ダイヤの見直し、航路 の再編及び増収策など、関係機関と協 議を行い、事業の継続に取り組む。 ・船員による機関等の点検を徹底し、修 繕費の節減に努める。 ・燃料購入について見積入札を継続し、 燃料潤滑油費の節減に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料 費高騰や物価上昇の中、島民の民生の 安定及び向上のため、離島航路を維持 していること自体評価できます。 今後も、野崎島を活用した交流人口の 増加、世界遺産関連の情報発信による 利用客増加を図り、費用削減や利便性 向上に取り組むことで、引き続き離島航 路の確保維持に努められることを期待 します。	
長崎県離島航路 対策協議会	小値賀町	柳～納島	・関係機関と連携し、情報発信や特 産品である落花生の収穫体験等を はじめ、地域おこし協力隊が開業し た島内初の宿泊施設(ゲストハウ ス)の活用により、更なる利用客の 促進を図った。	A	A	・効率的な運航、ダイヤの見直し、航路 の再編及び増収策など、関係機関と協 議を行い、事業の継続に取り組む。 ・船員による機関等の点検を徹底し、修 繕費の節減に努める。 ・燃料購入について見積入札を継続し、 燃料潤滑油費の節減に努める。 ・観光事業及び地域おこし協力隊と連携 し情報発信、移住促進を行い利用客増 加を図る。	島内の人口減少が進む中、また燃料 費高騰や物価上昇の中、島民の民生の 安定及び向上のため、離島航路を維持 していること自体評価できます。 今後も地域おこし協力隊との連携によ る釣り客など新たな利用客の確保に努 め、引き続き離島航路の確保維持に努 められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	嵯峨島旅客船有限 会社	嵯峨島～貝津	・年2回のドック時に備船する期間 を予備の日数も見込んでいたが、 船員の努力で終えることができた。	A	B	・船員不足を解消しなくてはならないた め、求人方法を考えなければならない。	島内の人口減少が進む中、また燃料 費高騰や物価上昇の中、島民の民生の 安定及び向上のため、離島航路を維持 していること自体評価できます。 船員の雇用について様々な試みを実 施し、将来の安定的運航に向けて、引 き続き離島航路の確保維持に努められ ることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
天草～長崎航路 対策協議会	苓北観光汽船株式 会社	富岡～茂木	・観光航路について、町イベント時 に観光航路(イルカウォッチング・ サンセットクルージング等)を計画・ 情報発信し、観光客等の航路利用 者の確保を図る。 ・Paypay、Airpay等の電子決済導 入による利便性の向上維持、並び に富岡港からの二次アクセス機能 の維持による観光客等の利用拡大 に向けた周知を行う事で、航路利 用者の確保を図る。	A	B	・コロナ禍前の利用水準に戻せるよう、 観光航路を含めた情報発信を関係団体 と連携し取り組む。また、航路が結ぶ地 域間の交流人口の拡大を図り、航路利 用者の確保を図る。	地域の過疎化が進む中、また燃料費 高騰や物価上昇の中、地域住民の民生 の安定及び向上のため、航路を維持し ていること自体評価できます。 今後も、イルカウォッチング・サンセッ トクルージング等の観光航路を活かした 交流人口の増加策を関係団体と連携し て取り組んでいくことにより、引き続き航 路の確保維持に努められることを期待 します。	
姫島～国見航路 運営協議会	姫島村	姫島～国見の離島 航路の運航	姫島～国見の離島路の運 航新型コロナウイルス感 染症の収束により各種イベ ントの開催が可能になり、交 流人口が増加したことによ り、旅客道賃、自動車航送 運賃ともに増収となっている。 また施設修繕費の節減 の徹底などにより、欠損額 増加の抑制や安定的な航 路運営に努めている	A	B	○日本ジオパーク等の地域資源を活か し、県内外からの観光客誘致を進めて 交流人口の増大を図る。 ○船舶については常時点検を行うことで 機械的に良好な調子を保ち、大規模な 修繕の発生を回避する。 ○引き続き経営収支の改善に務めると ともに、船員及び職員の安全教育に注 力し、異なるサービスの向上に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料 費高騰や物価上昇の中、島民の民生の 安定及び向上のため、離島航路を維持 していること自体評価できます。 今後も日本ジオパーク等の地域資源 を活かし、県内外からの観光客誘致を 進める等の交流人口を増やす取組を実 施することにより、引き続き離島航路の 確保維持に努められることを期待しま す。	
大島～佐伯航路 運営協議会	佐伯市	大島～佐伯の離島 航路の運航	新型コロナウイルス感染症の収束 により、釣り客等の来島者が増加し 増収となった。協議会委員には、市 の地域振興部長や佐伯市あまべ 商工会会長、大島地区自治会長を 任命しており、協力して移住や観 光、利用促進等の取組を行っている。	A	B	○地元商工会、観光協会等の関係機関 と連携して情報発信を行うとともに、活 性化方策として島内イベント等を開催 し、需要の喚起を図る。 ○船舶の定期検査、中間検査のほか、 日常点検を徹底し、突発的な大規模修 繕の発生を回避することで修繕費の削 減を図る。	島内の人口減少が進む中で、島民の 民生の安定及び向上のため、離島航路 を維持していること自体評価できます。 今後も、地元商工会、観光協会等の 関係機関と連携した情報発信を行うと ともに、離島活性化方策として、島内イ ベント等を開催し、需要喚起の取組を実 施することにより、引き続き離島航路の確 保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
蒲江～深島航路 運営協議会	佐伯市	蒲江～深島の離島 航路の運航	新型コロナウイルス感染症の収束により、少しずつ観光客等の利用が回復し、計画と比較して収益増となった。令和4年10月から運航事業者となった佐伯市は、細かな節減に努めるなど経費の圧縮を図っており、安定的な航路運営を行っている。	A	B	○今後も人口の減少が見込まれており、島民利用の増加は望めないことから、観光関係部署と連携を図りながら引き続きホームページ等で情報発信を行い、来訪客の増加を図る。 ○更なる経費節減に努め、欠損額の抑制を図る。 ○前運航事業者の撤退に伴い、令和4年10月からは佐伯市が運航事業者として事業を引き継いでおり、引き続き安定的な航路運営が継続されるよう運営改善の取組を行う。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も観光関係部署と連携して交流人口の増加を図りながら、離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
津久見～保戸島 航路運営協議会	津久見市	津久見～保戸島の 離島航路の運営	新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、少しずつ観光客や釣り客等の利用が回復し、前年度とほぼ同等の収益となった。また、日本語版、英語版の保戸島の観光パンフレットを市の公共施設などに設置し、利用客の増加を図った。 令和4年10月から津久見市が航路を引き継いだ、前運航事業者である用船委託事業者と積極的にコミュニケーションをとり、安定的な航路運営を行っている。	A	B	○今後はさらに観光部署と連携して観光ツアーの取組を強化し、来訪者の利用拡大を図る。 ○船舶の日常点検を徹底し、突発的な大規模修繕の発生を回避する。 ○細かな節減に努め経費の圧縮を図る。 ○引き続き安定的な航路運営が継続されるよう運営改善の取組を行うとともに、長期的な航路運航に向けた協議を進める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も観光部署と連携して観光ツアーの取組により利用拡大を図ることにより、離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市離島航路 確保維持改善協 議会	日豊汽船株式会社	島浦～浦城	【航路改善計画(令和2年度策定) に基づく取組や交流人口を増やす 取組】 ・老朽化したフェリーのリプレイスに 当たって課題となっていた航路事 業者の資金繰りに目途が立ったこ とから、令和7年11月の就航に向 けて建造に着手した。 ・GTFSやSNS(LINE)を活用した 運航情報の発信を実施した。 ・令和4年3月にオープンした飲食 店の開店費用等の一部を支援した 「島業」推進協議会や、島浦町で活 動する地域おこし協力隊と連携し て観光客の誘客に繋げた。	A	B	老朽化したフェリーのリプレイスに向け て、引き続き航路改善計画に沿った取 組を実施し、経費の削減に努める。 また、利用客の中心である島民の利用 促進を図るため、国の制度を活用した離 島住民運賃割引制度の実施に向けて、 関係者で準備を進める。 今後も航路を維持していくことにより、 島民や観光客の利便性を確保するとと もに、観光関係団体と連携しながら地域 の資源を活用した観光振興による利用 促進を強化していく。	島内の人口減少が進む中、また燃料 費高騰や物価上昇の中、島民の民生の 安定及び向上のため、離島航路を維持 していること自体評価できます。 今後も航路改善計画をより具体化して 実施していき、離島住民運賃割引の導 入による島民移動の活性化、観光資源 のPRによる来訪者の増加を図り、引き 続き離島航路の確保維持に努められる ことを期待します。	
串木野・川内～甑 島航路対策協議 会	甑島商船株式会社	串木野・川内～甑 島航路の運航	・計画どおり事業を進めることがで きている。	A	A	・代替船が令和7年2月28日竣工の上、 令和7年3月20就航予定である。新船就 航により、燃料費や船舶修繕費の削減 が見込まれ、航路事業における欠損額 の圧縮や利便性の向上が期待され、さ らなる安全運航、安定した航路運営に 努めて行きたい。	島内の人口減少が進む中、また燃料 費高騰や物価上昇の中、島民の民生の 安定及び向上のため、離島航路を維持 していること自体評価できます。 今後は使用船リプレイスによる新船効 果を活用しつつ、引き続き離島航路の 確保維持に努められることを期待しま す。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島～三島～ 枕崎航路対策協 議会	三島村	鹿児島～三島～枕 崎航路の運航	・増便等による利便性の向上により、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した利用促進に取り込むことで、輸送量の維持・確保に努めた。 ・平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。	A	B	・今後も、輸送量確保のため、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した、利用促進に努める。 ・本航路は、住民の利便性向上のため、平成28年10月より、便数利便性改善支援制度を活用して、週3便から週4便へ増便したところであり、今後、運航日程・発着時刻に関する住民の要望や利用動向を踏まえ、さらなる航路の利用促進に努める。 ※ 住民アンケート実施予定 ・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も利便性向上に努め、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
鹿児島～十島～ 名瀬航路対策協 議会	十島村	鹿児島～十島～名 瀬航路の運航	・十島村において、定住対策関連事業(交流人口の増加対策や地元産業の育成対策等)に取り組むことにより、本航路における輸送量の確保及び航路収支の維持を図った。 ・平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。	A	B	・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減及び安定的な航路運営に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も交流人口の増加対策や地元産業の育成対策等に取り組むことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島～喜界～ 知名航路対策協 議会	奄美海運株式会社	鹿児島～喜界～知 名航路の運航	・奄美群島振興交付金を活用した運賃軽減事業と奄美群島誘客・周遊促進事業(コラボキャンペーン・プロモーション映像等)を行い離島航路の周知・集客に努めた。 ・燃料価格の高騰に対して燃料油価格調整金を適切に収受した。 ・台風や荒天時の影響に対して臨時便やスケジュール変更を行い利便性を確保した。また、地域の要望(スポーツ大会等)に応じた運航も行い、収入確保に努めた。	A	B	・航路利用者は、少子高齢化や過疎化による人口減少に伴い、減少傾向で推移しているため、関係市町村やグループ会社と連携して収益の確保に努めるとともに、引続き燃料油価格調整金を適切に収受したい。また、国・県の支援事業を活用した利用促進を図りながら、島外や海外からの利用者を取り込んでいく。 ・船員問題として、船員不足・有資格者の採用などがある。対策として、水産高校や海員学校へ積極的に訪問し、採用活動を行いたい。また、船員の労働環境の改善・資質の向上に努める。 ・船舶の老朽化による修繕費などの維持管理費は、物価高の影響等により負担増になっているため、安定的な輸送を行ないながら最低限の経費でとどめるようにしたい。また、燃料油価格の高騰の対応として、引続き、グループ会社との共同購入や効率的な運航を行なっていく。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も関係機関と連携した収益の確保、船員の雇用、経費削減などの取組を進め、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
宮之浦～口永良 部・島間航路対策 協議会	屋久島町	宮之浦～口永良 部・島間航路の運 航	・島民にとって必要不可欠な生活航路としての安定的な航路運営に努めたが、昨年度に引き続き、今年度も年間通して噴火警戒レベルが2～3が続いており、公共工事等にかかる車両及び貨物の輸送量は減少した。 ・平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業を引き続き実施し、住民等の負担を軽減することで利用を促進した。	A	B	今後も人口減少や噴火警戒レベルの影響により公共工事等の実施が不確定な状況であり、各種輸送量の減少が見込まれる。離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、引き続き運賃低廉化事業を実施するとともに、安心安全な運航に努め、本航路利用者の維持を図る。	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も人口減少や噴火警戒レベルの影響に注視しつつ、関係機関との連携のもと交流人口の増加策を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
与路～古仁屋航 路対策協議会	瀬戸内町	与路～古仁屋航路 の運航	・イベント開催など、地域住民の要望に応えるとともに、必要に応じて運航ダイヤの見直しを行うなど、利用者と航路運営の課題を共有しながら、輸送サービスの向上に努めた。 ・令和4年度に策定した航路改善計画に基づき、R6.4.1より通常ダイヤの一部を変更し、これまで日曜日のみだった古仁屋からの日帰り可能ダイヤを、水曜日にも設定し、請島及び与路島への観光利用や奄美本島に在住する請島及び与路島出身者の住民の利用促進に努めた。	A	B	・目標年間輸送量を確実に達成できるよう、与路島、請島でのイベント開催や農業振興等による取扱い貨物の増など、町の施策と連携した需要喚起策に努める。 ・現在運航している船舶の老朽化による、整備等の不具合の発生を減少させるため、代替船建造を行っており、離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保するとともに、安定的な航路運営に努めたい。	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。今後もイベント開催や農業振興等による取扱い貨物の増など、町の施策と連携した需要喚起策に努めることで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
瀬相～古仁屋～ 生間航路対策協 議会	瀬戸内町	瀬相～古仁屋～生 間航路の運航	・平成29年4月より実施している加計呂麻島民を対象とした離島住民割引を引き続き実施し、島民の利便性確保、負担軽減を図った。	A	B	・加計呂麻島住民を対象とした離島住民割引を継続して実施し、島民の利便性確保、負担軽減に努める。 ・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努めるとともに、日常の整備により不具合発生を減少させ、安定的な航路運営に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。今後も加計呂麻島の住民を対象とした離島住民割引により利用拡大を図ることにより、島民の利便増進の取組を実施することで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
天草～長島航路 対策協議会	天長フェリー株式会 社	天草～長島航路の 運航	・長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、特に長島町など行政が実施する各種イベントと連携し、島外からの交流人口の利用促進を図ることで、目標の輸送量確保及び航路利用の促進に努めた。 ・コロナ5類移行とともにイベントの再開、人・車の往来が増えてきた。 ・長島町が獅子島住民の利用促進の一環として実施している自動車運賃を一部助成制度(平成22年7月より実施)を活用し、自動車輸送量の確保に努めている。 ・平成30年10月より獅子島住民を対象とした離島住民運賃割引制度により、島民の利便性確保、負担軽減を図っている。 ・上記の自動車運賃一部助成及び離島住民割引制度に獅子島住民は享受し、感謝されている。 ・新船「ロザリオ・カーム」の就航による経費削減効果としては、主燃料(A重油)の1回あたりの消費量が約1%減、潤滑油(ガデニヤオイル)の年間消費量が約83%減となったほか、船主責任保険等の保険料も減少した。	A	A	・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持、確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営を行う。 ・引き続き、新型コロナ感染防止策として船内消毒、アルコール消毒液の設置、従業員のマスク着用・体温計測・手洗い等の実施に努める。 ・天草～長島航路の利用促進、特に獅子島への化石見学、グルメ利用等の利用促進を図るとともに、長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、地域間交流事業など島外からの交流人口の利用促進を図り、輸送量の維持に努める。 ・平成30年3月に策定した「航路改善計画」に基づく運航形態の見直しや新船「ロザリオ・カーム」の導入による経費削減等効率的な航路運営に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も獅子島への化石見学、グルメ利用等の利用促進を図るとともに、長島町や天草市など関係自治体との連携による交流人口の増加を図ることにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	下関市	竹崎～六連島航路	燃料使用量の削減に努めていたが燃料価格の上昇により燃料費が高止まりしている、経年により故障箇所が増えてきている。継続して安全運航を行っている。コロナ収束による需要回復は落ち着いてきている。	A	A	島民及び利用者の意見を反映させながら利用者拡大及び利用しやすい 航路サービスへの改善に取り組んでいく。 引き続き燃料費、修繕費等の削減に努め、安全運航を最優先にして安定的な航路運営を行う。 また利用者数は減少傾向にあると思われるがイベント等利用増の時は臨時便等で適切に運航する。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も利用者の意見を反映させながら利用者拡大及び利用しやすい 航路サービスへの改善を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	下関市	蓋井島～吉見航路	燃料使用量の削減に努めていたが燃料価格の上昇により燃料費が高止まりしている、経年により故障箇所が増えてきている。テレビ等のマスコミの取材に積極的に協力し、観光客の誘致等に努めている。平成30年4月に新船が就航し、島のPRに努めた。 また 自治会や島民が中心となり島おこしを行っており、市としても積極的に情報発信も行っている。	A	A	島民及び利用者の意見を反映させながら利用者拡大及び利用しやすい 航路サービスへの改善に取り組んでいく。 引き続き燃料費、修繕費等の削減に努め、安全運航を最優先にして安定的な航路運営を行う。 また利用者数は減少傾向にあると思われるがイベント等利用増の時は臨時便等で適切に運航する。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も利用者の意見を反映させながら利用者拡大及び利用しやすい 航路サービスへの改善を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	